

ポジティブインパクトファイナンスをご利用いただいた事業者さまの
 サステナビリティ経営実現に向けたお取組み状況
 (モニタリング結果の開示)

十六銀行 ソリューション営業部
 十六総合研究所 コンサルティング部

当行のポジティブインパクトファイナンスは、2022年3月の取扱い開始以降、2025年6月末時点で113先の事業者さまにご利用いただきました。

十六銀行・十六総合研究所が作成した評価書につきましては、従来の財務諸表による定量面の分析のみならず、事業者さまの経営資源やサプライチェーンとの関係など定性面も詳しく分析することで、事業者さまのインパクトを丁寧に特定するよう努めてまいりました。このため、ご利用いただいた事業者さまからは、サステナブル経営の実現に向けた自社の現状を把握するための良い機会となったとお言葉をいただいております。

また、事業者さまと対話のうえ策定したKPIは、本業(事業者さまのお取扱いする商品・サービス)、環境問題、従業員さまの働きがいなど、幅広いテーマから設定しております。

なお、2023年10月以降にモニタリングを実施した24社さまにつきましては、

本左下のレーダチャートのとおり、KPI達成に向けて順調に取り組み始めていることを確認のうえ(※詳細は次頁以降をご覧ください)、必要に応じて、ビジネスマッチングなどKPI達成に資するソリューションを提案しております。

今後、KPIを達成した事業者さまや、新たにポジティブインパクトファイナンスをご利用いただく事業者さまに対して、追加的なインパクトを創出するKPI設定の重要性を啓蒙するとともに、この達成に向けた継続的支援を通じて、事業者さまと共通価値の創造をはかり、持続的な成長を目指してまいります。



■ モニタリングを実施した24事業者さまの各KPIに関連する17のゴールの数
 ■ のうち、達成・順調に進捗している各KPIに関連する17のゴールの総数

■モニタリングを実施した事業者さまおよび十六総合研究所のコメント

(1) 株式会社アーリーバード

事業者さまのコメント
<p>当社は「価値創造」を経営理念に掲げ、不動産売買・賃貸業を行っております。2024年3月期においては、新たに賃貸物件を取得のうえ、環境に配慮した住環境の設備環境に向けて取り組むとともに、不動産売買件数および顧客からの相談件数の増加に努めました。</p> <p>今後も、引き続き不動産売買件数および顧客からの相談件数の増加に取り組み、地域に住環境を提供してまいります。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に推移しています。</p> <p>顧客からの相談件数および不動産売買の増加により、「住居」におけるポジティブインパクトを発現させたと考えられます。また、環境に配慮した住環境の設備提供により「気候の安定性」におけるネガティブインパクトが緩和されました。</p> <p>当初設定した KPI は特段の修正を行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(2) アルード株式会社

事業者さまのコメント
<p>当社は、トイレブース・パーテーション・室戸建具の製造メーカーとして顧客ニーズに合わせた提案営業を展開し、自社ブランドを通じて快適な社会・環境づくりに努めています。この達成に向け設定した各種 KPI については、付加価値の高い新商品の開発を背景としていずれも順調に進捗しております。今後は KPI の一つである労働生産性の向上に向け、製造工程の省略化に取り組み、社内外両方にとってポジティブインパクトを創出してまいります。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。</p> <p>高精度かつ効率的な加工によって生み出された製品を供給することで、主に「住居」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。また、営業車のエコカーの切替えにより、「気候」の面でネガティブインパクトの緩和が期待できます。</p> <p>当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(3) 株式会社 NSK

事業者さまのコメント

当社は防犯セキュリティ機器の製造・販売を通じて、地域の安全面を支えています。2023年度は、KPIの達成に向けて、社会課題の分析とその解決に貢献する商品の開発体制を整備しました。

今後は、当社の映像ソリューション技術やAIを組み合わせ、人手不足が深刻な問題となっている介護分野に向けた商品の開発を進めていく予定です。その他、契約書の電子化やノー残業デーの新設を行い、全社を挙げてSDGsを推進しています。各種SDGsの取組みについてもHP上で定期的に発信しております。[株式会社 NSK CSR 活動 \(n-sk.jp\)](https://n-sk.jp)

今後も、KPIの達成やSDGsの推進に向けた各種取組みを進めていく予定です。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。

今後予定をされている介護分野に向けた商品開発の取組みによって、「健康・衛生」の点におけるポジティブインパクトの拡大が期待されます。

当初設定したKPIは特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(4) 株式会社 オノテック

事業者さまのコメント

当社は電気工事業者として、地域のインフラを支えております。2023年2月期においては、新たに16名の人材を採用し、電気工事士として一人前になれるように育成しております。

また、IT機器を活用し従業員一人ひとりの仕事を数値化すること、数値に基づき社内業務を平準化することによって、平均残業時間についても大幅に削減することができました。

今後については、事業規模の拡大と併せて、電気使用量の削減にも注力し、SDGsの達成に向けて全社を挙げて取り組む方針です。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。

人材採用の取組みによって社会的側面におけるポジティブインパクトの拡大が、残業時間削減の取組みによって社会的側面におけるネガティブインパクトの緩和が、それぞれ期待されます。

当初設定したKPIは特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(5) サンスリー株式会社

事業者さまのコメント

当社は、『化学』から『自然』なものづくりへ」という理念を掲げ、樹脂素材によるプラスチックハンガー・床材の製造を展開しております。当社で開発した自然成分由来 97%の環境配慮型素材「PANDO」を用いた事業に取り組み、環境にやさしい事業活動のなかで各種 KPI の達成に向けて取り組んでおります。具体的には、同素材を用いた花器の製造や、地域の伝統的なイベントで利用する製品を提供しました。

今後は「PANDO」の供給拡大に向けた新製品の開発や、地域人材の雇用創出に取り組むことで、社内外におけるインパクトの発現に向けて努めてまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI の達成に向けて、各種取り組みを実施されたことを確認しました。

地域人材の採用は、「雇用」の点におけるポジティブインパクトの発現につながったと考えられます。また、環境配慮型素材の供給拡大は、「資源効率」の点におけるネガティブインパクトの緩和が期待されます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(6) 有限会社山陽

事業者さまのコメント

当社は、メインビジネスである自動車解体事業を通じて、循環型社会に貢献するため、策定した KPI について、できることから取り組んでまいりました。具体的には、リサイクル車両台数については、2025 年までに年間 9,600 台まで増加させる目標に対し、2023 年は 7,005 台を取扱いしました。また、清掃活動をはじめとした社会貢献活動も定期的に実施しております。

働きやすい職場づくりに向けた取り組みについては、例年通りフィードバック面談を定期的実施するとともに、人事制度の改良も行いました。さらに、環境負荷の軽減に向けて新たに 1 台電動フォークリフトについて導入いたしました。今後も KPI 達成に取り組むなかで、引き続き循環型社会に貢献してまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。

自動車のリサイクル、働きやすい職場づくりに向けたの取り組みなどによって、「廃棄物」「雇用」の面でポジティブインパクトが創出されたと考えられます。また、当初設定した KPI のうち、社屋照明の LED 化については今後取り組み予定であること、電動フォークリフトについても順次導入を進めていくことをヒアリングしております。当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(7)シー・クエンス株式会社

事業者さまのコメント

当社は、「大地と向き合い、宅地を整え、住環境を提供し人々の生活を豊かになっていただくことで、多くの人に夢を叶えてもらえる」という設立当初からの想いのもと、愛知県を中心に宅地供給や緑地公園整備に積極的に取り組んでおります。また、新たな住環境の整備に伴い世代を跨ぐ文化継承が希薄化するなか、当社としては、名古屋市に根差す企業として地域の伝統芸能・文化を保護にも取り組んでおります。

今後とも、KPI達成を目指すとともに、様々なプロジェクトを取り扱うなかでノウハウを蓄積し、優良な住宅の供給に取り組んでまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI の達成に向けて、各種取組みを開始されたことを確認しました。

宅地供給事業者として、住環境を提供することにより、主に「住居」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。

また、緑地公園の開発により「気候」の点においてネガティブインパクトの緩和が期待できます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(8)新郊パイプ工業株式会社

事業者さまのコメント

当社は、メインビジネスであるパイプの曲げ加工・溶接加工を通じ、ものづくり産業を支えています。特に 2023 年 12 月期においては、当社にとって新領域となるテントフレームや車止めポールの製造・販売に注力し、徐々に売上も拡大しつつあります。

今後は、自社の燃料・電気使用量の削減など環境負荷低減にも取り組み、皆さまに信頼される「パイプ曲げ加工のプロ集団」であり続けたいと考えます。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。

新領域となるテントフレームや車止めポールの製造・販売にむけた取組みによって、主に「インフラ」の点におけるポジティブインパクトの拡大が期待されます。

そのため、当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(9) 株式会社 DAIEI

事業者さまのコメント

当社は「安全と感動をカタチにする」を経営理念に掲げ、鉄筋工事業を行っております。2024年4月期においては、鉄筋工事の受注件数の増加に努め、事業拡大を通じて住みよいまちづくりに貢献しました。また、営業車をエコカーへ切り替え、当初目標値であるエコカー比率を50%まで高めることで、環境にやさしい事業活動を推進してまいりました。

今後は、引き続き鉄筋工事の受注拡大に取り組み、持続可能な社会の形成に貢献していきます。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に推移しています。

鉄筋工事の受注増加により、「住居」におけるポジティブインパクトを発現させました。また、営業車をエコカーへ積極的に切替えたことにより「気候の安定性」におけるネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。

なお、KPI については見直しを行い、当初の目標を達成したエコカー比率を新たに設定のうえ、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(10) 太陽紙工株式会社

事業者さまのコメント

当社は、「紙」の新たな可能性の追求を通じ、低コストかつ環境に配慮した商品の提供に努めております。2023年度は、Vカットを用いた新加工法を導入し新たな商品を2タイプ開発しました。

また、今後はCO2フリー電力への移行、女性活躍の推進等に取り組むことで、KPIの達成を目指していきます。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。

リサイクルが可能な紙を用いた新商品を開発することによって、主に「廃棄物」の点におけるポジティブインパクトが創出されたと考えられます。

また、今後取組み予定のCO2フリー電力の移行によっては「気候」の点におけるネガティブインパクトの緩和が、女性活躍の推進の取組みによっては「雇用」の点におけるポジティブインパクトの拡大が期待されます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(11) 大洋荷役株式会社

事業者さまのコメント
2024年9月期においては、「物流の2024年問題」を意識した活動を推進してまいりました。具体的には、KPIとして掲げた「九州地方への輸送を100%中継輸送にて行う体制を構築する」という取組みを推進し、従業員の労働負荷の軽減とともに、物流の効率化をはかることができました。また、「エコドライブ講習会」については年2回開催、「外国人実習生のフォークリフト免許取得支援」については年5件以上の取組みを行い、KPIに基づいた活動を推進することができました。
十六総合研究所のコメント
モニタリングでは、PIF実行当初に設定したKPIがすべて順調に進捗していることを確認しました。特に中継輸送の対応を推進し、物流の効率化をはかることで、経済的な側面におけるポジティブインパクトが拡大されたと考えられます。当初設定したKPIは特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(12) 田中社寺株式会社

事業者さまのコメント
当社は、国宝・文化財等の保存修理工事を手掛けております。2024年5月期においてはKPIの達成に向けて、南宮大社、諏訪大社、津島神社、国府宮神社等、日本全国44か所の国宝・文化財などの屋根清掃活動を行ったほか、2023年7月に自社保有の山林にて間伐作業を実施しました。また、施工現場における安全管理も徹底し、業務上の事故0件を継続することができました。今後は、伝統技能の継承に向けて技術者の採用と育成に一層努めていく方針です。
十六総合研究所のコメント
PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。国宝・文化財等の保存修理の取組みによって、主に「文化・伝統」の点における、ポジティブインパクトの拡大につながったと考えられます。また、「2030年までに新たに5名の技術者を採用する」というKPIに対しても、地域の高等学校との連携を強化する等、採用活動の強化を通じて達成を目指していくことを確認しております。そのため、KPIについては特段の修正は行わず、来年以降もモニタリングをしていく方針です。

(13)医療法人忠知会

事業者さまのコメント

同会は岐阜県可児郡御嵩町において、「桃井病院」を運営しております。2024年3月期においては、地域に貢献する医療および介護サービスの提供に努めました。また、紙使用量を削減することで環境に配慮した事業活動に取り組んでまいりました。

今後は、引き続き地域に根差した医療サービスの提供に取り組み、御嵩町民の健康と暮らしを支えていきます。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に推移しています。

医療および介護サービスの提供により「健康・衛生」におけるポジティブインパクトを発現させました。また、紙使用量の削減により、「廃棄物」のネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(14)トランプコミュニケーション株式会社

事業者さまのコメント

当社は、総合リユースストアと中古農機具専門店の運営を通じて、循環型社会の構築に貢献しています。2024年9月期は KPI の達成に向けて、農機具の出張買取エリアの拡大に向けた活動を継続的に実施しました。また、社用車については順次HV車への入替えを進めていきました。採用についても積極的に行い、新たに5名の従業員を採用しました。今後は採用した従業員の定着に向けて計画的に社員研修を実施していくこと、福利厚生の実施等を推進していく予定です。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。本業である中古農機具の出張買取を強化することで、インパクトレーダー上では「廃棄物」の点におけるポジティブインパクトの一層の拡大が期待されます。当初設定した KPI は特段の修正を行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(15)中野建設株式会社

事業者さまのコメント

当社は、メインビジネスである民間工事や公共工事の案件受注を通じて、地域の社会インフラを支えています。

2024年9月期はKPIの進捗に向けて、手戻り工事の発生件数削減に努め、資材の節約につなげることができました。また、ISO認証については更新済み、労災についても発生はありませんでした。

今後については、メインビジネスである公共工事案件の獲得と品質の高い工事の提供、人材の採用と育成の強化に努めることでKPIの達成を目指していきます。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。

手戻り工事の発生件数削減の取組みによって、「廃棄物」の点におけるネガティブインパクトの緩和につながったと考えられます。

「愛知県優良工事または一宮市優良工事の受賞」「新規採用」のKPIについても、達成を目指していく方針であることを確認しております。

当初設定したKPIは特段の修正を行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(16)ナガイホールディングス株式会社

事業者さまのコメント

2023年度は、KPIの達成に向けて、愛知県主催のサーキュラーエコノミー「廃食用油のバイオ燃料として活用するリサイクルシステムの確立」メンバーとしての効率的な廃食用油の回収体制を構築すること、ごみ分布調査サービス「タカノメ」を導入し、データを収集、効率的な地域清掃活動に利用すること、等の取組みを推進しました。詳しくは、ナガイホールディングスサステナビリティレポート2023をご覧ください。

[サステナビリティレポート/2023 | ナガイホールディングス株式会社](#)

今後も廃食油による再生可能エネルギー発電事業については積極的な推進活動を行うとともに、育児休暇明けの従業員のフォロー体制の構築等働きやすい職場環境を構築していくことで、全社をあげてSDGsの活動を推進していきます。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗していることを確認しました。

本業であるリサイクル事業を通じて、インパクトレーダー上の「廃棄物」の点におけるますますのポジティブインパクトの拡大が期待されます。

また、社内方針の変更があったことから、当初設定したKPIのうち下記2項目について、修正を行うことを確認いたしました。

【今回のモニタリングにおいて変更を行ったKPI】

変更前：「トラックの平均燃費について、4.48km/L（2021年度実績）を維持し毎年ホームページ並びにサステナビリティレポートにて報告する。」

変更後：「トラックのデジタルタコグラフについて、毎年度の平均点を90点以上とする（2023年度86点）」

変更前：「2030年度までに再生可能エネルギー発電量1,000,000kWh/年を達成する。」

変更後：「廃食油の回収量を毎年前年比15%以上増加させる。」

(17)ニチデン精機株式会社

事業者さまのコメント

同社は換気扇をはじめとする家庭用の電化製品製造・卸売業を営んでおります。2024年5月期においては、紙使用量を50%削減することで、環境負荷の低減に取り組みました。また、新たなニーズを捉えた新製品の開発に注力しております。

今後も新しく生まれてくる多様な要望に関して、製品を通じて応えることで、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に推移しています。

紙使用量の削減により「廃棄物」におけるネガティブインパクトを低減させました。今後は新たなニーズを捉えた製品の開発により、「住居」におけるポジティブインパクトの発現が期待できます。

当初設定した KPI は特段の修正を行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(18)株式会社ビレッジ開発

事業者さまのコメント

当社は街づくりを通じた地域貢献に注力しております。

2024年3月期においては KPI の達成に向けて、当社の農業部門「次世代農業でんでん村」で栽培された機能性表示食品「うるつやトマト」の販売を開始しました。「うるつやトマト」は、健康に良い食品を選ぶ「第7回ウェルネスフードアワード2024」の「OYATSU 部門」で銀賞を受賞したほか、刈谷市のふるさと納税の返礼品に採用されるなど、外部からの一定の評価もいただいております。詳しくは下記の弊社 HP よりご覧ください。

<https://village-kaihatu.jp/blog/3798/>

<https://village-kaihatu.jp/blog/3136/>

また、グループ会社においても「無農薬まいたけ」や「オーガニック野菜」等の栽培を開始しており、将来的には野菜や健康関連商品を取り扱う独立店舗を建設していくことで、「健康横丁」の開発など「ビレッジランド」開発案件の拡充につなげていく方針です。また、2024年内に PHEV 車の導入を予定しているとともに、資格取得支援による国家資格取得者の拡大等、KPI 達成に向けて全社的な取組みを推進していく方針です。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗していることを確認しています。

「健康横丁」開発の一環として今回開始された「うるつやトマト」の販売に関しては、主に「健康・衛生」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。今後についても、「ビレッジランド」の開発や、従業員のスキルアップ、環境負荷に配慮した事業活動の推進等、全社的な取組みを展開されていくことをモニタリングの中で確認しております。

そのため、当初設定した KPI は特段の修正を行わず、来年以降も引き続きモニタリングを実施する方針です。

(19) 株式会社フロウ

事業者さまのコメント

当社は「HAVE FUN WITH US.」を経営理念に掲げ、外構工事業、中古楽器販売・音楽スタジオ運営を展開しております。2024年2月期においては、音楽事業にて地域イベントと連携した取組みを行ったほか、外構リフォームを施工し、まちづくりに貢献する活動を実施いたしました。

今後は、引き続き地域に密着した事業を展開し、SDGsの推進に取り組んでまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に推移しています。音楽事業における活動により「文化・伝統」におけるポジティブインパクトを発現させたと考えられます。また今後、外構工事業における環境負荷低減の取組みにより「廃棄物」におけるネガティブインパクトの緩和が期待できます。当初設定したKPIは特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(20) 平成工業株式会社

事業者さまのコメント

当社は2024年より、SDGs推進委員会を新たに立ち上げ、SDGsの取組みを全社的なものに広げていきました。

KPIとして掲げた「特定保健指導の割合」の低下に向けて、社内の自動販売機のラインナップをカフェインレス・低カロリーを意識したものへの見直しを行いました。また、自動車部品のパイプ曲げ加工で培ってきたノウハウを生かし、製造過程から生じる端材を用いたハンガーの作成・販売など、新たな分野のものづくりにも挑戦しています。さらに、新しく協業する取引先はカーボンニュートラルを推進している企業を積極的に選定するなど、幅広くSDGsに注力しています。

今後は、「2030年度におけるScope1,2を2020年度比で42%を削減する。」という目標の達成に向けて、製造工程の集約・効率化を推進していく方針です。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。

「特定保健指導の割合」「新たな分野のものづくりの挑戦」等の取組みによって社会的側面におけるポジティブインパクトの拡大が期待できます。

そのため、当初設定したKPIは特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(21)北星工業株式会社

事業者さまのコメント

板金加工事業を手掛ける当社は、公共設備で使用される金属製品をはじめ、身の回りの様々な場所で使用される製品の加工を通じて社会インフラの構築に貢献しております。

2024年3月期は、KPIの達成に向けて「FAXの電子画像データ取り込みシステムの導入」「技術講習会2件・新商品発表会3件への従業員の派遣」「従業員の休憩スペースの新設」等の取組みを実施しました。

その他、空調の入れ替えや、従業員一人ひとりのワークスペースの新設等、従業員がより能力を発揮できる職場環境の整備に尽力しました。

「ISOの認証取得」「売上高当たりの電気使用量の削減」等の目標についても中長期的な目線で取組み、KPI達成を目指してまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。

2024年3月期に実施された「FAXの電子画像データ取り込みシステムの導入」の取組みによって環境的側面におけるネガティブインパクトの緩和が、「技術講習会2件・新商品発表会3件への従業員の派遣」「従業員の休憩スペースの新設」の取組みによって社会的側面におけるポジティブインパクトの拡大が期待できます。

当初設定したKPIは特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(22)株式会社北斗

事業者さまのコメント

当社は「幸せの循環」を企業理念に掲げ、建設事業・不動産事業・介護事業を展開しております。2024年3月期においては、介護施設を新設することで地域に貢献するサービスの提供に努めるとともに、営業車をエコカーへ切り替え、環境に配慮した事業活動を推進してまいりました。また、当社従業員の年間休日を当初目標値である110日まで増加させることで、職場環境の整備にも取り組みました。

今後は、引き続き介護サービスの拡充に取り組むとともに、環境負荷低減に努め、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に推移しています。

介護サービスの拡充や従業員の年間休日を増加させることによって「健康および安全性」「雇用」におけるポジティブインパクトを発現させました。また、営業車のエコカーへの切替えにより「気候の安全性」におけるネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。

当初設定したKPIは特段の修正を行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(23) 株式会社山商運輸

事業者さまのコメント
<p>2024年3月期においてはKPIの達成に向けて、エコドライブの推進による温室効果ガス排出量の削減、廃オイル・ラップ・古紙のリサイクルの推進、地域の小中学生への物流業界のPR活動等、幅広く推進活動を行うことができました。温室効果ガスの排出量については2023年比で4%削減を実施、廃オイル・ラップ・古紙のリサイクル率については100%を維持しています。物流業界のPR活動については可児市をはじめとして近隣の多くの小中学校よりご賛同をいただいております。</p> <p>また、2023年3月期に設定した新たなKPI（働きやすい職場認証制度の三ツ星認証取得）に関しても、達成することができました。今後も引き続き、全社を挙げてSDGsの推進に取り組む方針です。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗していることを確認しています。温室効果ガスの削減やリサイクルの取組みによって、「気候」「廃棄物」等の環境面でのネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。</p> <p>また、「働きやすい職場認証制度の三ツ星認証取得」によって、「雇用」の面でのポジティブインパクトの拡大につながったと考えられます。</p> <p>当初設定したKPIは、「働きやすい職場認証制度」に関する目標については「三ツ星認証取得を維持する」という内容に修正を行い、その他については当初設定した内容にて、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(24) 株式会社レック

事業者さまのコメント
<p>リサイクルトナーカートリッジの製造・販売事業を手掛ける当社は、使用済みトナーカートリッジの回収、再生の取組みによって、廃棄物の削減、地球環境保護に貢献しております</p> <p>KPI達成に向けた取組みとして、従業員に付与有給休暇の見える化と休暇取得に向けた意識付けを実施し、有給取得率の向上につなげることができました。また、今後は事業活動から生じる温室効果ガスの排出量の測定、削減目標の設定を行い、より一層地球環境に配慮した事業活動を推進する方針です。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。</p> <p>従業員の有給取得率向上の取組みによって社会的側面におけるネガティブインパクトの緩和が、温室効果ガスの削減に向けた取組みによって環境的側面におけるネガティブインパクトの緩和が、それぞれ期待できます。</p> <p>当初設定したKPIは特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>